

第22回市民との意見交換会・報告書（城西地区）

開催地区：城西地区	開催日時：令和元年5月8日（水） 18時30分～20時50分
担当班：第5班（出席議員）土屋 隆、成田芳雄、佐野和枝、成田眞一、丸山さよ子、吉田恵三	（欠席議員）なし
開催場所：城西コミュニティセンター	
参加人数：男性10名、女性2名、合計12名（うち班外議員0名）（他自治体等傍聴者0名）	
<p>1. 議会報告、市政全般についての総括</p> <ul style="list-style-type: none">①新庁舎建設問題について<ul style="list-style-type: none">・新庁舎建設場所や駐車場問題、なぜ現在の場所なのか等の多くの意見が出された。市民に対し、現庁舎の場所に新庁舎を建設する事について丁寧な説明が必要と感じた。②県立病院跡地について<ul style="list-style-type: none">・県立病院跡地利活用等の事業内容に対し多くの質問、苦言、提言等があった。③ICTオフィスについて<ul style="list-style-type: none">・企業誘致によって若者が働ける場所をもっとつくってほしいことや、人口が増える対策を望む意見等があった。 <p>2. 地区別テーマでの意見交換についての総括</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 地区別テーマ<ul style="list-style-type: none">・顔が見える地域づくり(2) テーマ設定の理由、背景<ul style="list-style-type: none">・地域の高齢化が進み、高齢者のみの世帯、また一人暮らしの高齢者も増え、中には外出の機会が減り、隣近所であつても会う機会が少なくなっている方もいる。そのような現状から、外出の機会や、隣近所との交流がしやすくなる環境をつくっていく必要があるのではないかと考え、顔が見える地域づくりをどのように行なっていくのかというテーマ設定となった。(3) 主な地域課題<ul style="list-style-type: none">・各地域の独自の取組が報告され、活発な意見交換となった。コキアの栽培を通して交流を深め、将来は地域の道路沿いにコキアを並べ多くの人が見に来てくれるような地域にしたといった取組、また、総会の後にお茶会の時間を設けたところ、親睦が深まったとの報告、さらに、古い町内会館の改装を行い多くの方が集まりやすい場所とする計画など、具体的な事例は、地域をどのようにして良くしていこうか悩んでいる地区にとって、今後の地域づくりのヒントになったのではないかと思う。	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
新庁舎建設について、県立病院跡地に建設すれば、1か所で用事が済み、駐車場もある。現庁舎の場所では駐車場が狭いので県立病院跡地が望ましいのではないかと。車の時代なので中心から外れてもいいのではないかと。会津美里町の新庁舎は郊外に建てられた。	新庁舎は現在の場所に建てられる。県立病院跡地はにぎわいの場として計画を立てている。	○	①		行政 まちづくり
新しい庁舎は1か所に集約されるのか。	本庁舎、栄町第1・第2・第3庁舎の機能が1か所に集約される。	○	①		行政
新庁舎建設が完全に決まったような発言だが、県立病院跡地への建設が良い。広報議会の議案に反対した意見は掲載されているが、賛成した意見は掲載されていない。賛成した理由を聞きたい。	いろいろな意見がある。今の現庁舎に建て替えることが合理的ではないか等の意見はあった。県立病院跡地は、後から決まったことである。	○	①		行政 まちづくり
新庁舎は県立病院跡地に建てた方が費用が安いのではないのか。計画時には積算をするべき。引越越し費用やその間の市民の利便性はどうか。県立病院跡地に新庁舎も含めた複合施設をつくるべきではないのか。今からでも考えればいいでしょう。	現庁舎に建てるほうが費用が安く済むとのことである。なお、県立病院跡地に建設した場合の積算はしていない。現庁舎に建てた場合の概算は約94億円見積もっている。	○	①		行政 まちづくり
美里町や喜多方市の新庁舎を参考にしたらどうか。また急ぐ必要はないのではないかと。車社会なので郊外もいいのではないかと。ハードボード跡地もいいのではないかと。現庁舎の跡地は更地にして、分譲住宅など売却してはどうか。	ご意見として伺う。	○	①		行政
今の時点で新庁舎建設のストップがかけられるのか。ストップできないのであれば話をしても意味がない。	予算は議会にかかり賛成多数で通っているのです。ストップはできない。予算案に反対する人が多数になればストップすることになる。	○ ●	①		行政 議決責任

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
新庁舎建設のストップはできないという話だが、広報議会には予算案に対する反対意見が掲載されているが、賛成意見の討論が掲載されていない。新庁舎建設について個別項目として賛否が掲載されていないため、それぞれの議員の賛否が分からない。選挙に出る議員の公約として新庁舎問題について掲載してほしい。判断の材料になる。	議会の中で賛成討論をしていないので掲載されていない。	●	①		議会広報紙
小・中学校のエアコン設置について、ランニングコストはどのように考えているのか。財源は。	後日確認し報告する。	○	③	後日確認し、事後報告する。 (事後処理報告書P10に記載)	学校施設
ICTオフィスの入居状況はどうなっているのか。全体スペースのうち、どの程度埋まったのか。	現在17社が入居予定となっているが、3月末時点で6社が入居している。入居予定の17社でオフィス棟全体の7割が埋まる予定である。	○	①		企業誘致
ICTオフィスについて、家賃を多少下げの話が出ていたが、建築費がいくらで、家賃がいくら入ると採算が合うのかなど、基準がわからない。全部でいくらかかり市はどの位出すのか。全体的なものを出してほしい。	ICTオフィス環境整備事業に要した市の事業費は、総額が約15億円で、そのうち約5億円が国からの補助になる。また、ICTオフィスの建設費は、駐車場等の外構費も含め約24億円要したと聞き及んでいる。	○	①		企業誘致
人口増加の対策を取るべき。ICT関係ばかりではなく、普通の人が働ける職場があればいいのではないか。	ご意見として伺う。	○	②		行政 雇用
政策討論会議会制度検討委員会の活動報告にある議員報酬の中で、長期欠席議員とあるが、どういう議員なのか。その理由は。現在、対象者はいるのか。	理由は病気等さまざまである。今、長期欠席をしている議員はいないが、以前は長期欠席をしていた議員がいた。	●	①		議員報酬

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
市議会議員の議員定数が28人になったが、定数が減ったのは人口に合わせたのか。	昔は人口や面積が関係していたが、今は各自治体で定数を決めることができる。	●	①		議員定数
議員定数が減るのは民意の反映が減るのではないかと思う。	本市は、議員のいない地域でも市民との意見交換会を開催し、地域の問題を聞かせていただいている。この場を活用していただきたい。	●	①		議員定数
年間1,000人以上人口が減少している。これからは少子高齢化を前提にさまざまなことを考えないといけない。	ご意見として伺う。	○	②		行政
県立病院跡地で朝市をやってほしい。青森県弘前での朝市を見てきたが、賑わいをつくっていた。	ご意見として伺う。	○	②		まちづくり
カイハツボードの跡地はどうなっているのか。また、会津大橋と蟹川の間でできた橋はできているのに通れない。どうなっているのか。なんて無駄なことをしているのか。	カイハツボードの跡地は民間企業が所有しており、先日、計画の説明が地元で行われた。橋の問題について、県は計画に基づいて事業を進めているが、橋につながる道路について地権者の同意を得られたところからつくりはじめ、現在は神指地区側が未整備となっている。北会津の真宮側の部分は完了しているため、今後は神指地区の理解のもと工事が進められる。	○	①		地域経済 橋りょう
カイハツボードの跡地は民間企業の土地ではあるが、市からこのような物をつくってほしいと要望はできないのか。	都市計画で用途が決まっている。	○	①		都市計画
カイハツボード跡地は工業地域となっており、用途変更の申請をしても市が応じない。市民の声を反映し、議会も動くべきではないか。	議会としては、カイハツボード跡地についての議案はあがらないので判断ができない。	○ ●	①		都市計画 議会活動

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
<p>一般質問のゴミ問題について回答が実態と違う。「ゴミ出しについて町内会等から個々の事情を勘案してほしいといった要望もあるため、個別相談に応じながら柔軟な対応を心がけます」とあるが、個別相談には応じていない。</p> <p>第4中学校の落ち葉掃除は町内会で行っている。震災後、子どもたちに草むしりなどさせないようにしたが、草むしりや落ち葉掃除を子どもたちにさせてはどうか。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	○	②		環境 学校教育
<p>竹田総合病院から三角屋まで(市道幹I-11)の道路整備はどうなっているのか。</p>	<p>竹田総合病院から三角屋まで(市道幹I-11)は市の事業で工事を進めている。その先(西側)については県の事業となっている。</p>	○	①		道路
<p>ゴミの問題で八王子の取組を紹介したい。ゴミの回収袋を行政から買っていた(10枚300円)。有料となればゴミを捨てるのに意識が高くなりゴミの減量化につながる。また、行政の財源にもなる。補助金を要求するだけでなく、市民として自助努力も必要ではないか。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	○	②		環境
<p>城西町会館の脇に清水が流れているが、用水路(旧古川)の下流にゴミがたまってしまう。道路維持課に川の土砂上げ、草刈りをお願いしている。これまで嘆願書も出してきたが、議会からも働きかけをお願いしたい。地区で困っているのので受け止めてほしい。</p>	<p>現地調査し、後日報告する。</p>	○	③	<p>現地調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P11に記載)</p>	河川

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 顔が見える地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	(はじめに、会津若松市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の城西小学校区の日常生活圏域ニーズ調査結果、単位老人クラブ・ふれあい事業の状況について資料をもとに説明) 区長会長から、顔が見える地域づくりについて想いを語っていただきたい。			
高齢者問題は全国的なものである。 地区内においても町内会、長寿会などの参加者が増えてこない。役員を受けてくれる人もいない。民生委員・児童委員、高齢者福祉相談員、第2包括支援センターを中心として活動をしているが、連携を取った活動を密にしていかなないと全体的な動きにつながっていかない。 身近なつながりとしては各種団体があるので、連携を強化し、情報交換が必要である。民生委員・児童委員や高齢者福祉相談員の巡回は月2回～3回となるが、隣近所は毎日見ることができるので、身近に感じる関係を取り組んでいかなければならないと考える。		○	②	
	隣近所の付き合い、見守りが希薄になってきている。そういった現状に対し、こんなことが必要ではないか、また各地区の取組等について発言をいただきたい。			

○ 地区別テーマでの意見交換について → 顔が見える地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>地区では「ふれあい・いきいきサロン」をはじめて3年目となっている。今年はいきいきサロンの補助金がまだ入っていない。支援をするのであれば、決まったことはきちんとやるべき。 いきいきサロンや趣味の会であれば会員は入りやすいが、老人会という名前は抵抗があり会員が増えない。老人会連合会にいきいきサロンは入っていない。老人会連合会について見直す必要がある。</p>		○	②	
<p>空き家問題、少子高齢化などについて書いてある「負動産時代」を読んで参考にさせていただきたい。</p>		○	②	
<p>地域の取組として、お助け隊やさまざまな行事を行う等の活動をしているが、支援する方も高齢化している。足腰が弱っていて人の為に何かをしたくてもできない状態である。いきいきサロン、囲碁・将棋などあっても、身体がついていかない。毎回の参加は登録数の半分ほどで男性が少ない。助け合っていく町内とするには、どうしたらいいのか自問自答している。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 顔が見える地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>鈴懸地区ではコキア（ほうき草）を20鉢買って20人の方に育ててもらった。コキア育てが、育てている方同士の話のきっかけづくりとなるのではないかと思った。秋には鉢を持ちより芋煮会を行った。取れた種を使って、今年は鉢を40個に増やし予算も確保している。コキアを育てる人も40人に増やしたい。将来は道路の両側に並べてみんなに見てもらいたい。また、他からも見に来るような地域にしていきたいと思っている。有料で見てもらえば収入にもつながる。広場で集まりを持つのが夢である。</p>	<p>すばらしい取組です。</p>	○	②	
<p>市も、市に合ったアイデアを募集してはどうか。</p>		○	②	
<p>いきいきサロンでは手芸をしているが、お茶のみでも良い。皆が一斉に同じことをすることではなく、それぞれが好きなことをすれば良いのではないか。若い人たちに入ってもらったらどうか。 (65歳の若い人2名が入った)</p>		○	②	
<p>いきいきサロンは民生委員・児童委員の方が中心となって行事を企画し、長寿会で人を集め、運営している。近くのデイサービスにも声をかけながら参加を促している。他の町内の方も参加OKである。使っていなかった古い町内会館があるので、危機管理課の空き家対策補助制度に申請し改装を予定している。そこで卓球、囲碁、将棋、お茶会などをしたい。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 顔が見える地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
いきいきサロン5葉会は5町内が集まり、区長が中心になって行っている。区長には40代の若い人もいる。会には補助金も入るが、お金がかかるので参加者から100円をいただいている。しかしお金がかかると出ない人もいる。		○	②	
社会福祉協議会は、会費を取って運営するべきと言っているが、町内会としては取る必要はないと思っている。 町内では金の集め方と人の集め方が問題である。		○	②	
地域の活動の中で、城西町には健寿会があるが、町内の運営、役員のなり手がいないのが困りごとである。 これまでの総会は3時間もかかっていたが、向き合ってお茶を飲む時間を用意したところ、今回55分で終わることができた。お茶会で雑談をすることができたためか、一斉清掃の時、あちこちで立ち話をする姿が見られ、コミュニケーションがとれてきたように感じた。		○	②	


市民との意見交換会・事後処理報告書

城西地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 学校のエアコン設置について (P 3)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 小・中学校のエアコン設置について、ランニングコストはどのように考えているのか。</p> <p>【事後処理結果】 小・中学校の空調設備は、国の補助対象が空調機器の買い取りによる設置となっていることから、リースではなく買い取りでの設置となりました。熱源方式は「電気式」と「ガス式」がありますが、室外機の設置場所の確保や稼働音、メンテナンス等を比較し電気式で整備しました。また、省エネルギー型の機種を選定しています。 年間の電気代は山形市を参考に試算し、小学校1.2倍、中学校1.5倍となることが想定されます。一方で、老朽化したボイラー所有校や地下タンクの更新が迫っている8校については、暖房もエアコン対応とするため、重油費や管理費が減額となります。 メンテナンスについては、フィルター清掃等がありますが、具体的な実施方法は検討中です。 なお、電気料、メンテナンス費用について国からの補助はありません。</p>	

市民との意見交換会・事後処理報告書

城西地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>2. 川の環境整備について (P 5)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 城西町会館の脇に清水が流れているが、用水路（旧古川）の下流にゴミがたまってしまう。道路維持課に川の土砂上げ、草刈りをお願いしている。議会からも働きかけをお願いしたい。</p> <p>【事後処理結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月13日 現地調査実施 地区の役員の方に対応いただき城西町会館付近の旧古川の状況を見てきました。現地はところどころ草が生えている状況でした。地区の方のお話では、去年の秋、草が茂り水が流れなくなったため市にお願ひし除草をしてもらったそうです。昔は地域の方が川に入って川ざらいをしていましたが、近年はできなくなったため、市で川ざらい等をしてほしいという要望でした。 ・ 5月14日 道路維持課河川グループに確認 道路維持課より、「近年、川ざらいや草刈りなど川の環境整備に関する市民からの要望が増加しています。原因として、高齢化により川ざらいが難しくなっている地域があること、農業用水として利用し管理整備されていた川が、農地の宅地化により管理する人がなくなった事などが考えられます。現在、皆様から寄せられる要望に全て応えることは困難で、川ざらいや管理等は地域で行っていただくことを基本としていますので、地区のご協力をお願いしているところです。なお、緊急性があるところや、危険なところについては、ご相談下さい。」との回答を得ました。 <p>5班として、河川の管理に関する要望は、全市的に増えていることから、今後の課題として認識しました。</p>	 <p>旧古川の現状を地元の方に教えていただきました。</p>